

**編集後記：**最近、インターネットからの気象データの検索が一層充実してきました。今年の冬はどのくらい寒かったのだろうと気象庁のホームページから東京都大手町の1月について少し調べてみました。日平均気温は5.1°Cとここ10年で最も低く、月平均湿度は36%と観測開始以来最も乾燥しており、月間降水量はたったの3.5mmと少なく、寒くて乾燥していた1月だったことが1分もあれば調べることができます。

ところで私は高校時代まで北海道の田舎で暮らしました。当時お天気が好きだった私ですが、インターネットが普及していないため上記のような情報は簡単に手に入らず、新聞の天気予報欄から昨日の気温を知ることが精いっぱいでした。大雪の日などは積雪深の情報がある新聞やテレビの気象情報を欠かさず見たり

しました。また気象学の本は田舎の本屋には置いていませんでしたので、図鑑にある地学のページから気象学を学ぶのが精いっぱいでした。それを思い返すと改めて最近のインターネットの便利さを実感します。

「天気」もインターネット上で公開されています。検索もできるため、気象学に関係したちょっとした調べ物もでき、またそこからいろいろな記事に出会い、思いがけず知識が広がることもあるかもしれません。オンライン「天気」を会員の方だけではなく、気象に興味のある中学生、高校生にも広く見ていただき、少しでも知識の幅が広がれば、また将来の気象学会員の増加に少しでもつながればと願っています。

(小野耕介)